

2 育ちゆく体とわたし

第4学年 ●教科書 p.16～28 ◆担当授業時数4時間

●指導順序

単元計画配当	内容のまとめり(新学習指導要領)	指導順について
第1時	(ア) 体の発育・発達	必ず単元の最初に取り扱う。
第2～3時	(イ) 思春期の体の変化	(ア)に続いて取り扱うことが望ましい。
第4時	(ウ) 体をよりよく発育・発達させるための生活	(ア)(イ)の学習後に取り扱うことが望ましい。

●学校の授業及び学校の授業以外の場での取り扱い

学習内容や学習活動に応じて、取り扱いを判断することが望ましい。

「学習活動と評価の計画」の「時間」欄に、取り扱いの分類を示す。

分類	学習内容や学習活動の別	時間数
学	学校の授業が必要な時数 教師による適切な指導が必要な内容や、話し合い・実習などが必要なもので、 <u>学校での指導が望ましいもの</u> 。	3
▲	学校での指導が望ましいが、学校の指導計画や実施できる時間数によっては、 <u>学校の授業以外の場での学習が可能なもの</u> 。	1

●単元の評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・体は、年齢に伴って変化することや体の発育・発達には、個人差があることを理解している。 ・体は、思春期になると次第に大人の体に近付き、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること、また、異性への関心が芽生えることを理解している。 ・体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であることを理解している。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・体がよりよく発育・発達するために、課題を見付け、その解決に向けて考えているとともに、それを表現している。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の大切さに気付き、体の発育・発達についての学習に進んで取り組もうとしている。

●学習活動と評価の計画

- ★1 学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動を除いた、学校の授業が必要な時数
- ★2 【知・技】…知識・技能、【思・判・表】…思考・判断・表現、【態度】…主体的に学習に取り組む態度
- ★3 学校の授業以外の場での学習が可能であると考えられる教材・学習活動の概要、配当時数

時間（教科書ページ）	学校での授業時間 ★1	学習活動・内容	評価規準と評価の観点 ★2	学校の授業以外の場での学習が可能なもの ★3
第1時 (p.18-19) 学▲	第1時	<u>1 大きくなってきたわたし</u> 1. 本時の課題を理解する。 2. 1年生のときからの自分や友達の身長伸びを知る。 3. 「けんこうのきろく」をもとに、身長伸びについて学習する。 4. 身長伸びには個人差があることを学習する。 5. 今後の成長の見通しについて考える。 6. 学習のまとめをする。	・自分の発育・発達に気づき、それらを肯定的に受け止め、これからの自分の発育・発達に課題をもちながら学習に進んで取り組もうとしている。【態度】 ・体の発育・発達には個人差があることに気づき、それらについて考え、説明している。【思・判・表】 ・体は年齢に伴って変化することや個人差があることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。【知・技】	○1年生のときからの身長伸びをグラフにする活動(0.5時間) ※ただし、児童一人ひとりの1年生からの身長伸びを準備しておく必要がある。
第2時 (p.20-21) 学▲		<u>2 おとなの体になるじゅんぴ (1)</u> 1. 前時の復習をし、本時の課題を理解する。 2. 体の外側の変化について学習する。 3. 思春期の体つきの変化と意味について学習する。 4. 悩んでいる友達にどのような言葉をかけるか、教科書の文を読んで考える。 5. 学習のまとめをする。	・体の発育・発達の大切さに気づき、思春期の体つきの変化についての学習に進んで取り組もうとしている。【態度】 ・思春期の体の変化について、学習したことを自分の変化と結びつけて考え、説明している。【思・判・表】 ・思春期には体つきに変化が起こり、個人差はあるが男女の特徴が現れることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。【知・技】	○悩んでいる友達にどのような言葉をかけるか、教科書の文を読んで考えを記入する活動(0.5時間)
第3時 (p.22-25) 学	第2時	<u>3 おとなの体になるじゅんぴ (2)</u> 1. 前時の復習をし、本時の課題を理解する。 2. 大人の体に近づくと起こる体の中の変化を学習する。 3. 思春期に起こる体の中の変化と、個人差について学習する。 4. 思春期の心の変化について学習する。 5. 学習のまとめをする。	・思春期の体の中の変化について、進んで考えたり、調べたりしようとしている。【態度】 ・思春期の心の変化について、学習したことを自分にあてはめて考え、それを説明している。【思・判・表】 ・思春期になると大人の体に近づき、初経や精通が起こったり、異性への関心が芽生えたりすることについて理解し、言ったり、書いたりしている。【知・技】	
第4時 (p.26-27) 学	第3時	<u>4 よりよく成長するための生活</u> 1. 前時の復習をし、本時の課題を理解する。 2. 自分の食生活を振り返る。 3. よりよく成長するための運動、食事、休養・睡眠について学習する。 4. 学習のまとめをする。	・体をよりよく発育・発達させるために、教科書や資料を見たり、自分の生活を振り返ったりするなど、学習に進んで取り組もうとしている。【態度】 ・体をよりよく発育・発達させるための生活のしかたについて課題を見つけ、その解決に向けて考えたことを他者に伝えている。【思・判・表】 ・体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養・睡眠が必要であることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。【知・技】	

◆新型コロナウイルス感染症の影響により、各種の取り組みを行い学校における指導を充実したとしても、なお、年度当初予定していた内容の指導を本年度中に終わることが困難である場合、内容の一部を次学年等に移して指導することも考えられる。その際は、教員間の引継ぎを徹底するなど、遺漏のないよう配慮されたい。